



CO<sub>2</sub> モニター  
**CO<sub>2</sub>RK-Lite**

取扱説明書

**理研計器株式会社**

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6  
ホームページ <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

## 目次

1. 製品のアウトライン	4
1-1. はじめに	4
1-2. 使用目的	5
1-3. 危険、警告、注意、注記の定義	6
1-4. 各種マーキングの確認方法	7
2. 安全上、大切なお知らせ	8
2-1. 警告事項	8
2-2. 注意事項	9
2-3. 電波法認証について	10
2-4. 設置に関する留意事項	13
3. 製品の構成	15
3-1. 本体および標準付属品	15
3-2. 各部の名称と働き	16
3-3. 表示部	18
4. 使用方法	20
4-1. 電源の ON/OFF	20
4-2. 二酸化炭素濃度の確認(LCD 表示)	21
4-3. ブザーの ON/OFF	22
4-4. ピーク値の確認／警報点の変更	22
5. 各種機能	24
5-1. 警報動作 (換気のお知らせ機能)	24
5-2. 故障警報動作	25
5-3. 自動調整機能	26
5-4. スマートフォン用のアプリ	27
6. 保管および廃棄について	28
6-1. 保管または長期間使用しない場合の処置	28

---

6-2. 製品の廃棄.....	28
7. トラブルシューティング.....	29
8. 製品仕様.....	31
8-1. 仕様一覧.....	31
8-2. 製品の保証.....	32

# 1

## 製品のアウトライン

### 1-1. はじめに

この度は、CO<sub>2</sub>RK-Lite 型(以降「本器」)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本器を正しくご使用いただくための取り扱い方法が記載されています。本書を良くお読みいただき、内容を理解した上で取扱説明書の記載に従ってご使用ください。

なお、製品改良のために、この取扱説明書の内容を予告なしに変更することがあります。また、この取扱説明書の全部または一部を無断で複製または転載することを禁じます。

保証期間の内外を問わず本器をご使用することによって生じたいかなる事故および損害の補償はいたしません。保証書に記載される保証規定を必ずご確認ください。

## 1-2. 使用目的

本器は、室内環境中の二酸化炭素濃度をモニタリングするための機器です。二酸化炭素濃度値をLCD画面に表示し、検知範囲内で設定した警報点(換気のお知らせ濃度値)に二酸化炭素濃度が達した場合に、LCD画面色(緑色/橙色/赤色)およびブザーでお知らせする機能があります。

本器は、非分散形赤外線吸収式センサ(NDIRセンサ)を用いております。室内環境中の二酸化炭素濃度自体に反応する原理です。エタノールなどの消毒用アルコールによる干渉影響を受けない測定原理を採用しております。




本器は Bluetooth® を搭載しているモデルと、Bluetooth® を搭載していないモデルがあります。Bluetooth® を搭載しているモデルは、二酸化炭素濃度値をスマートフォンなどのアプリ画面に表示することができます。

「1-4. 各種マーキングの確認方法」でマーキングを確認し、どちらのモデルであるのか確認した上でご利用ください。

本器はガスの定量・定性を分析・測定する分析計ではありません。目的に応じてご利用ください。

### 1-3. 危険、警告、注意、注記の定義

本取扱説明書では、表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる被害の程度を、以下のように区分して説明します。

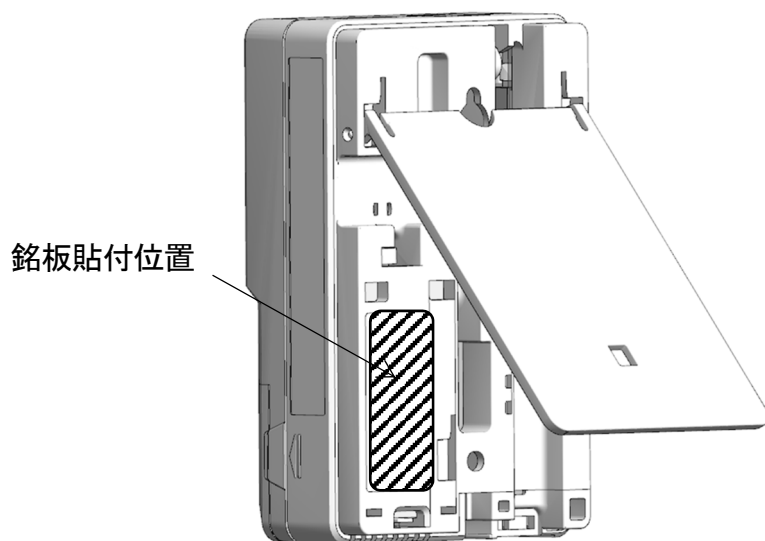
 <b>危険</b>	取り扱いを誤った場合、人命、人体または物に重大な被害を及ぼすことが想定されることを意味します。
 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、身体または物に重大な被害を及ぼすことが想定されることを意味します。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、身体または物に軽微な被害を及ぼすことが想定されることを意味します。

その他、取り扱い上のアドバイスを、以下のように表示して説明します。

<b>注記</b>	本器を取り扱う上で知っているのと役に立つ事項を意味します。
-----------	-------------------------------

## 1-4. 各種マーキングの確認方法

各種マーキング (CE/UKCA マーク、FCC ID、技適マーク) は、製品に貼付されている銘板に記載されています。ご使用になる前に、製品の仕様をご確認ください。なお、CE/UKCA マーキング仕様をご使用になる場合、巻末の自己宣言書 (Declaration of Conformity) を参照してください。



Bluetooth® を搭載しているモデルの場合

MODEL	C02RK-Lite	
INST. No.	1Z0010001RN	
DATE	2112	
Contains FCC ID :	RYEYSHJN	
	001-A07864	
RIKEN KEIKI Co., Ltd. 2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744, Japan		

技適マーク      FCC ID

Bluetooth® を搭載していないモデルの場合

MODEL	C02RK-Lite	
INST. No.	1Z0010001RN	
DATE	2112	
RIKEN KEIKI Co., Ltd. 2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744, Japan		

CE/UKCA マーク

## 2

## 安全上、大切なお知らせ

本器の性能を維持し、安全にお使いいただくため、以下の警告、注意事項を守ってください。

**警告**

- 万一、本器に異常が見つかった場合は、速やかに販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。最寄りの営業所につきましては、弊社ホームページよりご確認ください。  
ホームページ <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

## 2-1. 警告事項

**警告**

- ケーブルに引っ張り、締め付け、ねじれなどのストレスが加わらないようにしてください。
- 本器を分解・改造しないでください。性能が保証できなくなります。
- 本取扱説明書に基づき、正しく使用してください。
- 制御機器や装置などに付帯して使用しないでください。
- 付属の AC アダプタを使用してください。
- 本器は Bluetooth® を搭載しているモデルと、Bluetooth® を搭載していないモデルがあります。  
Bluetooth® による無線通信に関しては、別途、「2-3. 電波法認証について」を参照ください。



## 2-2. 注意事項



### 注意

- 本器の近くやケーブルの近くで、トランシーバーなどの電波を発射する機器を使用しないでください。測定値に影響する場合があります。
- 本器の電源を切り、5秒以内に再度電源を入れると、正常な動作をしない場合があります。
- センサおよびブザーの開口部を、先の尖ったもので突かないでください。故障や破損の原因となり、正しい測定ができなくなる可能性があります。
- 本器に水をかけないでください。また水のかかる恐れのある場所に設置しないでください。本器は防水、防滴仕様ではありませんので、故障の原因となります。
- 本器は精密機器です。落下等による強い衝撃や振動を与えないでください。
- ケースを開けたときには、内部部品に触らないでください。
- センサ部の通気口をふさがないでください。

## 2-3. 電波法認証について

本器は以下表の通り、各国、地域の電波法の適合と認証を取得しております。

以下の行為は電波法で禁止されています。禁止行為を行った場合はユーザーまたは販売者が罰せられます。

- ・電波法を取得していない国や地域で使用する事
- ・電波法を取得していない国や地域に向けて販売すること
- ・本器を分解や改造すること
- ・本器の認証ラベルを剥がすこと

また、本器を海洋上の船内で使用する場合、適用される電波法は領海の沿岸国が該当します。その場合でも電波法を取得していない国や地域で使用する事は禁止されています。

本器の使用周波数帯(2.4GHz)では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されていない事を確認してください。万が一本器から移動体識別用の無線局に対して電波干渉が発生した場合には、使用する場所を変更するか、電波の発射を停止するなどの電波混信防止の処置等を実施してください。

### 無線仕様

無線通信	プロトコル: Bluetooth Low Energy バージョン: Ver 4.2 周波数: 2402~2480 MHz 変調: FSK 出力: 最大 6dBm
------	---

電波法認証 (国・エリア)	内容
電波法 (Japan)	<p>本器は電波法に基づいて技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵しています。従って本器をご使用になる場合に無線局の免許は不要です。</p>  <p>工事設計認証認可番号:001-A07864 無線周波数:2402MHz~2480MHz 最大無線出力:6dBm</p>
RE Directive (EU Countries)	 <p>We declare that this equipment complies with the basic requirements of Directive 2014/53/EU and other relevant provisions. Connect to the network with radio waves of frequency 2.4 GHz band and maximum output 6dBm.</p>
FCC compliance (United States)	<p>This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p><b>FCC CAUTION</b> Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.</p> <p>Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a</p>

	<p>commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.</p> <p>This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment has very low levels of RF energy that is deemed to comply without testing of specific absorption rate (SAR).</p>
--	---

## 2-4. 設置に関する留意事項

本器の設置作業には、以下の注意事項を必ず守ってください。

これらの注意事項を守らない場合には、機器の故障が生じ、正常なモニタリングが行えない場合があります。



### 注意

本器は精密機器です。本器を設置する場所(環境)によっては所定の性能を発揮できない場合がありますので、設置場所の環境を確認し、場合によってはお客様にて、必要な処置を施すようお願いいたします。

以下のような場所には取り付けないでください。

- ・直射日光の当たる場所や屋外
- ・水・油・薬品・粉塵のかかる場所
- ・冷暖房機器などの送風などが当たる場所
- ・油煙、煙、湯気の当たる場所
- ・0°C未満、または40°Cを超える場所、温度の急変する場所
- ・浴室のように湿気の高い場所や、結露するような場所
- ・カーテンの裏や物陰などの換気の悪い場所
- ・腐食性のガスのある場所

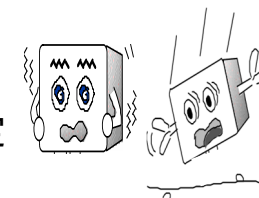
### 注記

測定器の位置は、ドア、窓、換気口から離れた場所で、人から少なくとも50cm離れたところにしてください。

※ 厚生労働省 冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法(2020年11月27日掲載)  
より引用

**<振動、衝撃のある場所には設置しないこと>**

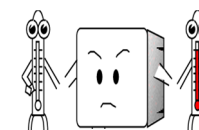
本器は精密な電子部品で構成されています。振動、衝撃などがなく、落下などの恐れのない、安定した場所に設置してください。

**<水・油・薬品などがかかるような場所には設置しないこと>**

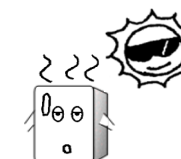
本器に水・油・薬品など、液体がかかるような場所は避けて設置してください。

**<温度が 0°C未満または 40°Cを超える場所には設置しないこと>**

本器の使用温度範囲は 0~40°Cです。使用時に使用温度範囲を超えない安定した場所に設置してください。

**<直射日光の当たる場所や、温度の急変する場所には設置しないこと>**

直射日光や輻射熱(高温なものから放射される赤外線)が当たる場所、機器の温度が急変する様な場所は避けてください。機器内部で結露したり、急激な温度変動に追従できないことがあります。

**<ノイズ源となる機器から隔離をすること(本体およびケーブル)>**

設置は、周囲に高周波機器・高電圧機器のある場所は避けてください。



## 3

## 製品の構成

## 3-1. 本体および標準付属品

梱包箱を開けて、本器と付属品を確認します。

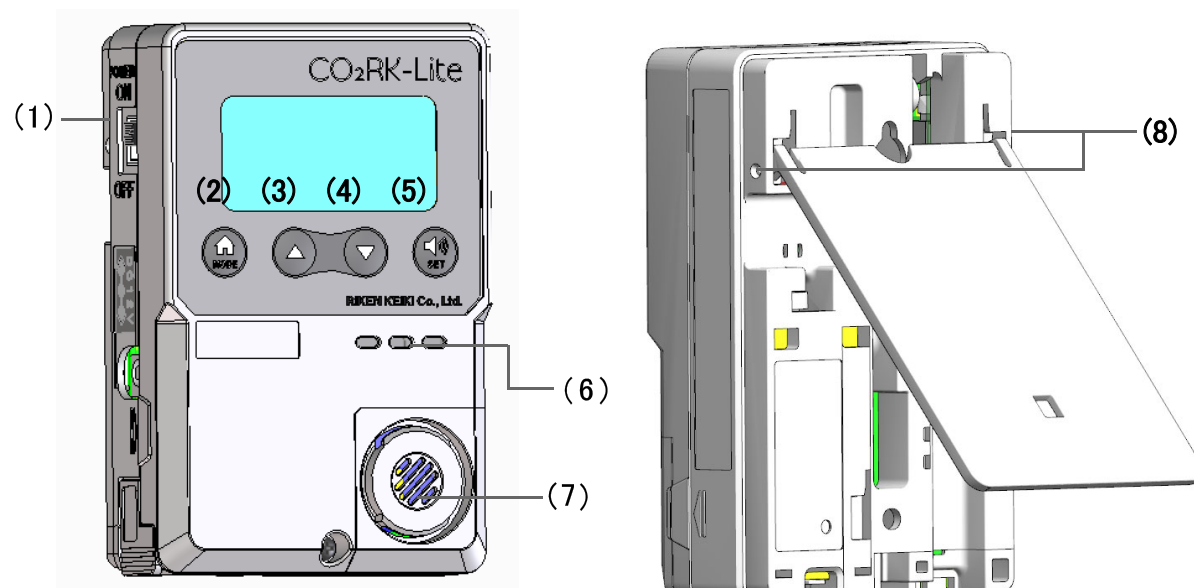
万一、足りないものがありましたら、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

## &lt;本体と標準付属品&gt;

本体	標準付属品			
<p data-bbox="302 863 495 895">CO<sub>2</sub>RK-Lite</p> 	<p data-bbox="734 863 927 895">AC アダプタ</p> 	<p data-bbox="1061 1066 1335 1098">検査成績書 1 枚</p>	<p data-bbox="1402 1066 1675 1098">製品保証書:1 枚</p>	<p data-bbox="1742 1066 2011 1098">取扱説明書:1 冊</p>

## 3-2. 各部の名称と働き

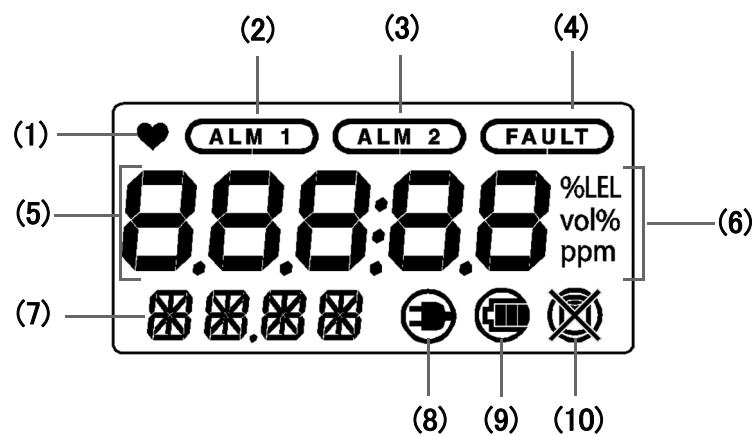
本器の各部の名称と働きおよび LCD 表示について記載しています。





名称	主な機能
(1) 電源スイッチ	電源を ON/OFF します。上方向にスライドして電源が入り、下方向で電源を切ります。
(2) MODE ボタン	設定時のキャンセルとして使用します。
(3) △ボタン	PEAK 表示/警報 1st 値表示/警報 2nd 値表示を切り替えます。 設定時の画面切り替えや、入力数値を上げるときに使用します。
(4) ▽ボタン	設定時の画面切り替えや、入力数値を下げるときに使用します。
(5) SET ボタン	設定時の確定に使用します。
(6) ブザー放音口	操作音や判定音を放出する口です。(ふさがないでください。)
(7) センサ部	検知対象ガスを検出します。カバーの中にセンサがあります。 (ふさがないでください。)
(8) スタンド取り付け穴	スタンドを差し込んで固定します。

## 3-3. 表示部



名称	主な機能
(1) 動作状態表示	動作状態を表示します。正常時は点滅します。
(2) 1st 警報表示	1st 警報時、点灯又は点滅します。
(3) 2nd 警報表示	2nd 警報時、点灯又は点滅します。
(4) 故障警報表示	故障警報時、点灯します。

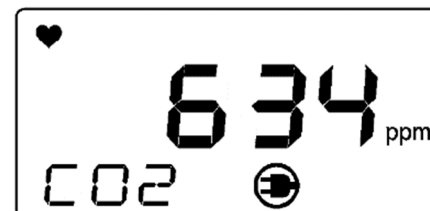
(5)	濃度値表示 メンテナンス表示	二酸化炭素濃度値を表示します。 設定時にはメンテナンス項目などを表示します。
(6)	単位表示	単位(ppm)を表示します。
(7)	ガス名表示 メンテナンス表示	ガス名を表示します。CO <sub>2</sub> と表示されます。 設定時には項目名称などを表示します。
(8)	電源表示	電源を入れると点灯します。
(9)	本器では使用しません。	
(10)	ブザーON/OFF 表示	ブザーを OFF にすると点灯します。



## 4-2. 二酸化炭素濃度の確認(LCD 表示)

測定画面では、二酸化炭素濃度が LCD に表示されます。

本器のモニター可能な二酸化炭素濃度は、400ppm～5000ppm です。400ppm を下回った数値や、5000ppm を上回った数値は表示されず、400ppm や 5000ppm の値で固定されます。

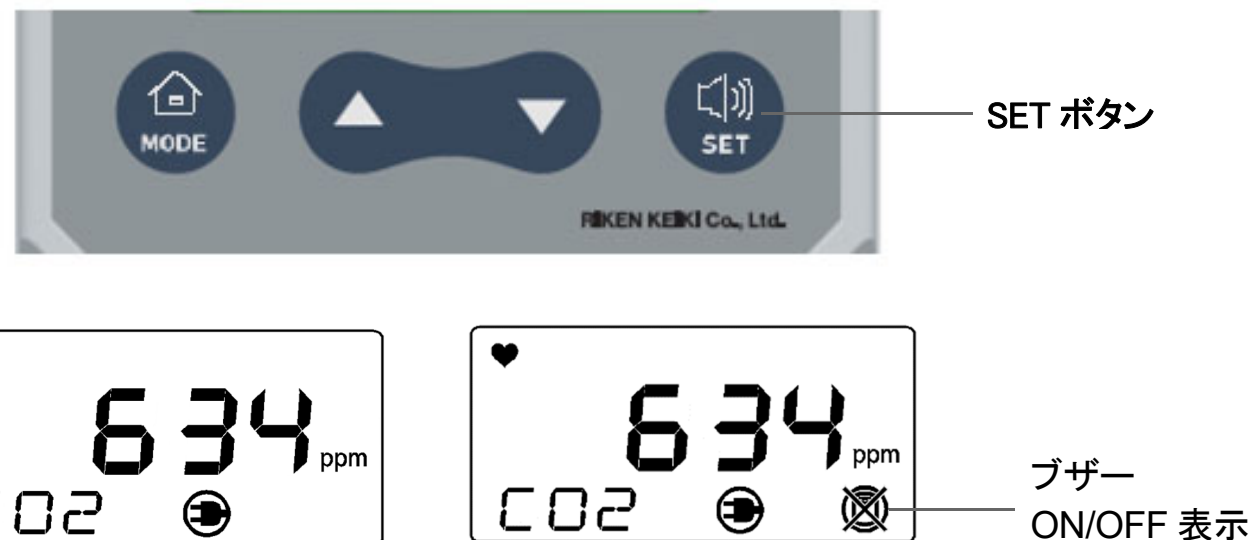


### 注意

- ・屋外大気中の二酸化炭素濃度は地域により異なりますが、一般に 400ppm～450ppm であり、常時変動しています。常に二酸化炭素濃度表示が一定値を示し続ける場合には、正常に動作していない可能性があります。
- ・正常に動作しているか確認する場合は、直射日光／風雨／ほこり／人間の呼気等を避けた上で、屋外の空気にあててください。5 分～10 分後の二酸化炭素濃度が、400ppm～450ppm 程度になった場合には、本器は正常に動作していると判断できます。

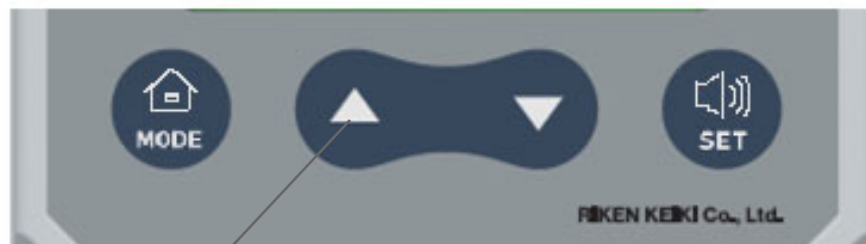
### 4-3. ブザーの ON/OFF

SET ボタンを長押し(3秒以上)すると、ブザーの ON/OFF を切り替えることができます。一旦、ブザーON/OFF 状態を切り替えると、電源を落としても同じ状態を維持します。

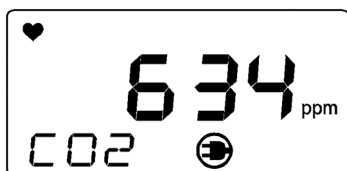


### 4-4. ピーク値の確認／警報点の変更

△ボタンを押すと、ピーク値の確認とクリア、警報点 1st の確認と変更、警報点 2nd の確認と変更、の各画面を切り替えることができます。初期設定値は警報点 1st: 建築物環境衛生基準 1,000ppm、警報点 2nd: 学校環境衛生基準 1,500ppm の二酸化炭素管理濃度に基づいて設定しております。



△ボタン



## 測定画面

△ボタンを押すと、ピーク値確認画面になります。

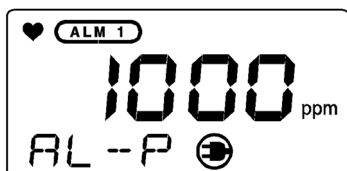


## ピーク値の確認画面

△ボタンを押すと、警報点 1st 確認画面になります。

SET ボタンを長押し(3 秒以上)すると、保存されているピーク値をクリアします。

ピーク値は、電源を落とすとクリアされます。

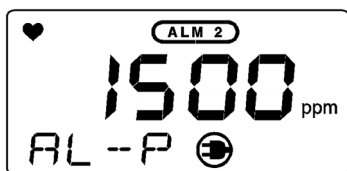


## 警報点 1st 確認画面

△ボタンを押すと、警報点 2nd 確認画面になります。

SET ボタンを押すと、数値が点滅し、警報点 1st を変更できます。

点滅状態で SET ボタンを押すと、数値が確定し保存されます。



## 警報点 2nd 確認画面

△ボタンを押すと、測定画面に戻ります。

SET ボタンを押すと、数値が点滅し、警報点 2nd を変更できます。

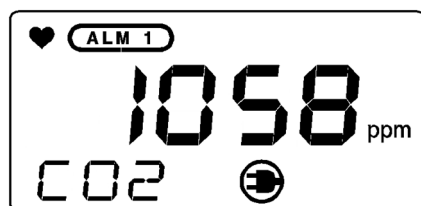
点滅状態で SET ボタンを押すと、数値が確定し保存されます。

## 5

## 各種機能

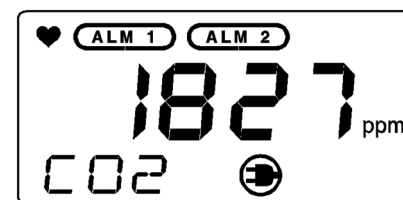
## 5-1. 警報動作 (換気のお知らせ機能)

本器は、二酸化炭素濃度値が警報点として設定した濃度値になると、以下の動作をしてお知らせします。



< 警報点 1st を超えた状態 >

- ・LCD の背景が橙色に点灯します
  - ・LCD 上部に ALM1 の表示が点滅します
  - ・ブザーがピッピッと鳴動します
- ※どれかのボタンを押すとブザーのみとまります



< 警報点 2nd を超えた状態 >

- ・LCD の背景が赤色に点灯します
  - ・LCD 上部に ALM1 と ALM2 の表示が点滅します
  - ・ブザーがピッピッピッと鳴動します
- ※どれかのボタンを押すとブザーのみとまります

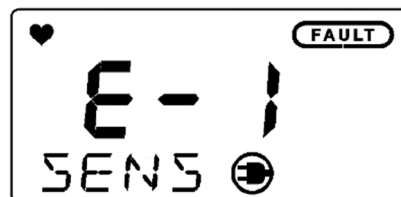
警報動作は、二酸化炭素濃度値が解除濃度(警報点として設定した濃度値 - 50ppm の値)よりも、低くなると自動的に解除されます。



## 5-2. 故障警報動作

本器内は、異常動作を検知すると、以下の動作をしてお知らせします。

LCD にエラーメッセージが表示されますので、エラーメッセージを確認し、適切に対処してください。



< 故障を検知した状態 >

- ・ LCD の背景が赤色に点灯します
  - ・ LCD 上部に FAULT の表示が点滅します
  - ・ ブザーがピッピッと鳴動します
- ※どれかのボタンを押すとブザーのみ止まります

故障状態から正常に復帰した場合は、電源投入後の動作(イニシャルクリア)から再スタートします。  
機器に問題があり、故障が頻発する場合は、速やかに弊社営業所にご連絡ください。

### 注記

故障内容(エラーメッセージ)については「7. トラブルシューティング」を参照してください。

### 5-3. 自動調整機能

本器は、経時的なセンサの出力変化を補正する自動調整機能を持っています。

本器の電源を入れてから 24 時間後までの最も低い二酸化炭素濃度値を記憶して、その値が屋外の大気中の二酸化炭素濃度 420ppm であるとして補正を実施します。その後、電源を入れ続けた場合、7 日毎にその間の最も低い二酸化炭素濃度値を記憶して、その値が屋外の大気中の二酸化炭素濃度 420ppm であるとして補正を実施します。



#### 注意

- ・ 屋外大気中の二酸化炭素濃度は地域により異なりますが、一般に 400ppm～450ppm です。
- ・ 本器は、週末などの夜間に、室内空気が大気中と同じくらいの二酸化炭素濃度である約 420ppm まで下がるような場所に設置する必要があります。期間中の最も低い二酸化炭素濃度が 420ppm と一致しない場合は、その分が誤差となります。
- ・ 頻繁に電源を ON/OFF するような場合には、自動調整機能が動作しません。
- ・ 経時的なセンサの出力変化を補正する際は、電源を一旦切って入れなおすことで、24 時間後の自動調整機能を作動させてください。
- ・ 人が複数人いる室内で本器の表示が 400ppm から変動しない場合や、人が少ない場合に本器の表示が高い(目安:1000ppm 以上)ままである場合は、調整がずれている可能性がありますので、電源を一旦切って入れなおすことで、24 時間後の自動調整機能を作動させてください。

## 5-4. スマートフォン用のアプリ

本器は Bluetooth®通信を利用することでお手持ちのスマートフォンにより二酸化炭素濃度を確認することができます。本機能を利用するためには専用無料アプリ「RK Link」が必要になりますので、Google Play または、App Store からインストールしてください。

RK Link は、Gmail を用いたメール送信機能を有しております。ご使用前に Google アカウント(Gmail アドレス)の取得をしてください。詳細は、別途、RK Link の取扱説明書をご確認ください。



Google Play Store



Apple App Store

## 6

# 保管および廃棄について

### 6-1. 保管または長期間使用しない場合の処置

本器は以下の環境条件内で保管してください。

- ・常温、常湿、直射日光の当たらない暗所
- ・ガス、溶剤、蒸気などの発生しない場所

本器が収納されている梱包箱がある場合は、梱包箱に入れて保管してください。  
梱包箱がない場合は、ほこりなどを避けて保管してください。

### 6-2. 製品の廃棄

本器を廃棄する場合は、産業廃棄物(不燃物)として地域の法令などに従い、適切な処理をしてください。

## 7

# トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、すべての不具合の原因を記載したものではありません。よく発生する不具合の原因究明の手助けとなるものを簡単に記載しております。

ここに記載されていない症状や処置を行っても復旧しない場合は、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

症状・表示	原因	処置
電源が入らない	電源スイッチが OFF	電源スイッチを ON にしてください。
	ケーブルの異常（断線・未接続・短絡）	本器および周辺に関連機器を含めた配線の確認をしてください。
	AC アダプタの故障	AC アダプタの交換が必要です。 弊社営業所まで連絡してください。
	AC アダプタのコネクタが正しく接続されていない	AC アダプタを正しく接続してください。
異常な動作をする	電波などによる影響	電源を OFF にし、再起動を行ってください。 頻繁にこのような症状が起こる場合は、適切なノイズ対策を実施してください。
センサ異常 E-1 SENS	センサ異常	センサに異常が発生しています。 弊社営業所まで連絡してください。

症状・表示	原因	処置
システム異常 E-9 SYSTEM	機器内部の ROM、 RAM、EEPROM の異常	弊社営業所まで連絡してください。
指示値が不安定	急激な温度変化	エアコンの風の当たる場所や、換気による窓開けなどによる急激な温度変化の無い場所に設置して使用してください。
	二酸化炭素濃度の変化	人間の呼気や、暖房設備などからは高濃度の二酸化炭素が排出されます。そのような場所を避けて、設置してください。
	外来ノイズの影響	電子レンジや、大型の家電などからは、強い電波が発生する場合があります。そのような場所を避けて、設置してください。

## 8

## 製品仕様

## 8-1. 仕様一覧

検知原理	非分散形赤外線吸収式 (NDIR 式)
検知対象ガス	二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )
検知範囲	400~5000ppm
指示精度(同一条件下)	±50ppm±5%読み値 (25°C、1 気圧環境条件基準)
表示機能	LCD デジタル表示 (緑・橙・赤 3 色バックライト付)
警報設定値	1st: 1000ppm / 2nd: 1500ppm (初期設定値)
警報動作	1st: バックライト点灯(橙)、ブザー鳴動 2nd: バックライト点灯(赤)、ブザー鳴動 ※初期設定ではブザーON 設定になります。
電源	AC100V~AC240V±10%・50/60Hz
消費電力	最大 5VA (AC100V 時) / 最大 8VA (AC240V 時)
使用温度範囲	0~40°C (急変なきこと)
使用湿度範囲	90%RH 以下 (結露なきこと)
外形寸法	本体: 約 80(W) × 120(H) × 38.5(D)mm
質量	約 180g

## 8-2. 製品の保証

1. 取扱説明書などの注意書に従った正常な使用状態で、お買い上げの日から 1 年以内となります。
2. 本製品はメンテナンスなどのアフターサービスについては、実施していません。
3. 保証期間内でも、次の場合には有料修理または交換対応とさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理又は改造による故障および損傷。
  - (ロ) 弊社および弊社指定のサービス代理店以外で修理または改造された場合の故障および損傷。
  - (ハ) お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、転倒、落下、保管上の不備などによる故障および損傷。
  - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧、定格外の使用電源(電圧、周波数)などの外部要因による故障および損傷。
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。



## 改訂履歴

版	改訂内容	発行日
0	初版	2021/11/12
1	CE 自己宣言書変更、UKCA 自己宣言書追加	2022/7/11



## EU-Declaration of Conformity

Document No.: 320CE22103



We, RIKEN KEIKI Co., Ltd. 2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744 Japan  
declare under our sole responsibility that the following product conforms to  
all the relevant provisions.

Product Name: CO2 Monitor  
Model: CO2RK-Lite

Council Directives		Applicable Standards
2014/30/EU	EMC Directive	EN 50270:2015 EN IEC 61326-1:2021 EN IEC 61000-3-2:2019+A1:2021 EN 61000-3-3:2013+A1:2019
2014/53/EU	RE Directive	EN 300 328 V2.2.2 EN 301 489-1 V2.2.3 EN 301 489-17 V3.2.4 EN 62479:2010
2011/65/EU <sup>(1)</sup>	RoHS Directive	EN IEC 63000:2018

<sup>(1)</sup>Including substances added by Commission Delegated Directive (EU) 2015/863

Place: Tokyo, Japan

Date: Jun. 29, 2022

Takakura Toshiyuki  
General manager  
Quality Control Center



## UK-Declaration of Conformity

Document No.: 320UK22071



We, RIKEN KEIKI Co., Ltd. 2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744 Japan declare under our sole responsibility that the following product conforms to all the relevant provisions.

Product Name: CO2 Monitor  
Model: CO2RK-Lite

Regulations	UK designated Standards
Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 (S.I. 2016/1091)	BS EN 50270:2015 BS EN IEC 61326-1:2021 BS EN IEC 61000-3-2:2019+A1:2021 BS EN 61000-3-3:2013+A1:2019
The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012 (S.I. 2012/3032)	BS EN IEC 63000:2018
Radio Equipment Regulations 2017 (S.I. 2017/1206)	BS EN 300 328 V2.2.2 BS EN 301 489-1 V2.2.3 BS EN 301 489-17 V3.2.4 BS EN 62479:2010

Place: Tokyo, Japan

Date: May 27, 2022

Takakura Toshiyuki  
General manager  
Quality Control Center